

パネルディスカッション

「街路樹問題を考えるパート3

落ち葉とのおつきあい」のご案内

猛威を振るった台風18号は、滝川市内の街路樹や庭木もずいぶん痛めつけていきました。森のかがく活動センター外縁の木々から舞い落ちる大量の枯れ葉がご近所さんの軒先で迷惑をかけている、という指摘をきっかけに、昨年秋にスタートした連続パ

ネル討論「街路樹問題を考える」3回目となる今回は、たきかわ環境フォーラムと同センターが昨秋から試している「落ち葉腐葉土化作戦」の検証を中心に、街路樹のある住宅街でのじょうずな「落ち葉とのおつきあい」について考察を深めます。

◆とき 2004年9月26日（日曜日）午後1時半～3時半

◆ところ 滝川市森のかがく活動センター（滝川市空知町2-6）

◆入場料 無料（申し込み不要、直接会場にお越しください）

◆主催 たきかわ環境フォーラム

◆お問い合わせ 森のかがく活動センター ☎ 22-3410



【プログラム】

●第1部（話題提供、各20分）

(1)「落ち葉を集めて堆肥作りに挑戦」 越後弘（たきかわ環境フォーラム）

(2)「落ち葉を活用して現金収入？—北広島市シルバー人材センターの試み」 平田剛士（たきかわ環境フォーラム）

●休憩（センター裏庭の落ち葉耕を見学、20分）

●第2部パネル討論「落ち葉集め・落ち葉利用のススメ」（60分）

市民めいめいが身近の落ち葉を掃き集めて、可能な場所ではごみに出さずに堆肥化・腐葉土化を図ってガーデニングなどに使う—そんな「落ち葉との共生プラン」を探ります。ただし、一箇所に集める量が多すぎると処置が大変なことはセンターでの実験で証明済み。ほかのリサイクル問題と同じように、成功のためのキーワードは「個別・分散・少量」です。

★同時開催 堆肥作り関連本の展示

◆これまでの経緯

第1回のパネル討論「街路樹問題を考える—落ち葉ってごみでしょうか？」は昨年11月9日、パネリストに川嶋幸治さん、高橋啓治さん、武田忠義さん、吉澤隆司さんを迎えて、滝川市内の街路樹管理の現状と課題、将来像について話し合いました。第2回は今年5月29日、「街のカラスとどう折り合うか」と題して玉田克巳さん、武田忠義さんの二入の専門家

を招き、街路樹に営巣するカラスをテーマに話題提供してもらいました。これら2回のパネル討論の報告文は、森のかがく活動センター情報誌「えこあっぷ！」と、たきかわ環境フォーラムのウェブサイト（<http://homepage1.nifty.com/hiratatuyosi/takikawaEnvironmentForum/index.html>）に掲載されています。